2017年度日本建築学会技術部門設計競技

ユニバーサル社会を支える環境技術

多様な利用者の安全快適な環境デザインをめざして

主催　日本建築学会 環境工学委員会

主旨　21 世紀の成熟社会を真に豊かな社会とするため、だれもが地域・社会の一員として互いに支え合うなかで安心して暮らし、一人ひとりが持てる力を発揮して、元気に活躍できるユニバーサル社会の実現が求められる。

これまで、国のバリアフリー新法や地方自治体による福祉のまちづくり条例などに基づいて、高齢者や障害者に配慮した建築や都市環境の整備が進展し、加えて、子育て支援やインバウンドにも配慮した安全・快適な環境整備が進みつつある。さらに、2020年開催の東京オリンピックやパラリンピックに向けて、より一層グローバルな、ユニバーサル社会の実現をめざした取り組みが期待される。

そのような中、本設計競技では、子どもや高齢者に配慮した温熱・空気環境設計、視・聴覚障害者にも優しい音・光環境設計、外国人にも使いやすい空間設計などをはじめとする、建築環境工学的なアプローチを求める。その視点は、多様な人間の「五感」を活かした多彩な内容となる。かつ、対象とするものは、日常生活において使用されるインテリア、住空間から、公共施設、交通施設、都市環境まで多岐にわたり、身近なモノのレベルからエコロジカルな環境づくりにまで関連する。

多様な分野の様々な研究成果や取り組みをふまえ、会員各位から、未来のユニバーサル社会の環境整備に資する技術が提案されることを期待する。

応募要領

❶課題

ユニバーサル社会を支える環境技術
　多様な利用者の安全快適な環境デザインをめざして

❷応募資格　本会個人会員（準会員を含む）、または会員のみで構成するグループとする。なお、同一の個人または代表名で複数の応募をすることはできない。

※未入会者、2017年度会費未納者ならびにその該当者が含まれるグループの応募は受け付けない。応募時までに入会および完納すること。

❸募集内容

(1) 課題・主旨に対しての効果が明確に表現されていること。特に、対象とする建築、環境、モノ、システムの図面において、具体的にどのように導入されているかが分かりやすく表現されていること。
(2) 提案した技術の合理性が表現されていること。
(3) すでに実在しているものでも、想定したものでも、自由に設定してよい。

❹審査委員（敬称略、五十音順）

委員長　岩田 三千子（摂南大学／環境設計運営委員会主査・環境バリアフリー小委員会主査）
委　員　岩田 利枝（東海大学）
　　田中 直人（島根大学）
　　土田 義郎（金沢工業大学）
　　二井 るり子（二井清治建築研究所）
　　堀越 哲美（愛知産業大学）
　　吉村 靖孝（明治大学）

❺提出物　下記 3 点を提出すること（使用する言語は、日本語または英語とする）。

(1) 応募申込書
　以下を A4 判 1 枚に明記すること（自由書式）。
　① 提案名（提案内容を的確に表す簡潔なタイトル）
　② 代表者の氏名（ふりがな）・会員番号・所属
　③ 共同制作者全員の氏名（ふりがな）・会員番号・所属
　④ 上記中の事務連絡担当者の氏名（ふりがな）・会員番号・所属・連絡先住所・電話番号・E-mailアドレス
(2) 提案する建築、環境、モノ、システムの図面
　以下を A1 判 1 枚に収める。用紙は縦使いとしパネル化しないこと。
　① 提案名（提案内容を的確に表すタイトル）
　② 提案の内容（意匠図、平面図、システム図など）
　③ 提案の意図と概要（コンセプト、新規性、合理性など）
　④ その他の配慮（技術、美観、施工性等への配慮など）

※注意：提出図面には、氏名・所属、建物名称など、応募者が特定できる情報を記載しないこと。

(3) 上記（1）および（2）のPDFファイルを収めたCD-RまたはDVD-R

❻提出期限　2017年6月15日（木）17時必着

❼審査会　審査は二段階で行う。

(1) 一次審査会（非公開）2017年 6月下旬予定
　入選作品候補を選定する。
(2) 二次審査会（非公開）2017年 7月中旬予定
　候補者による10分程度のプレゼンテーションを実施し、各賞ならびに佳作を決定する。

❽表彰

最優秀賞－1 点：賞状および副賞50万円
優 秀 賞－3 点以内：賞状および副賞10万円
佳　　作－若干：賞状および副賞 5 万円
ただし、審査結果において該当作品なしとする場合がある。

❾審査結果の公表等　入選作品は2017年度日本建築学会大会環境工学部門研究懇談会の席上で表彰する（大会会期8月31日～9月3日）。入選作品は同大会で展示し、審査経過・講評とともに『建築雑誌』および本会ホームページに掲載する予定である。

❿その他

(1) 応募図面および関係書類は返却しない。
(2) 応募作品の著作権・特許権は応募者に帰属するが、『建築雑誌』・本会ホームページへの掲載や日本建築学会編の出版物に用いる場合は、無償でその使用を認めることとする。
(3) 課題の内容に関する質問は受付けない。

［提出先］

(一社)日本建築学会事務局「技術部門設計競技」係
〒108-8414 東京都港区芝5-26-20
TEL. 03-3456-2057［担当：一ノ瀬］